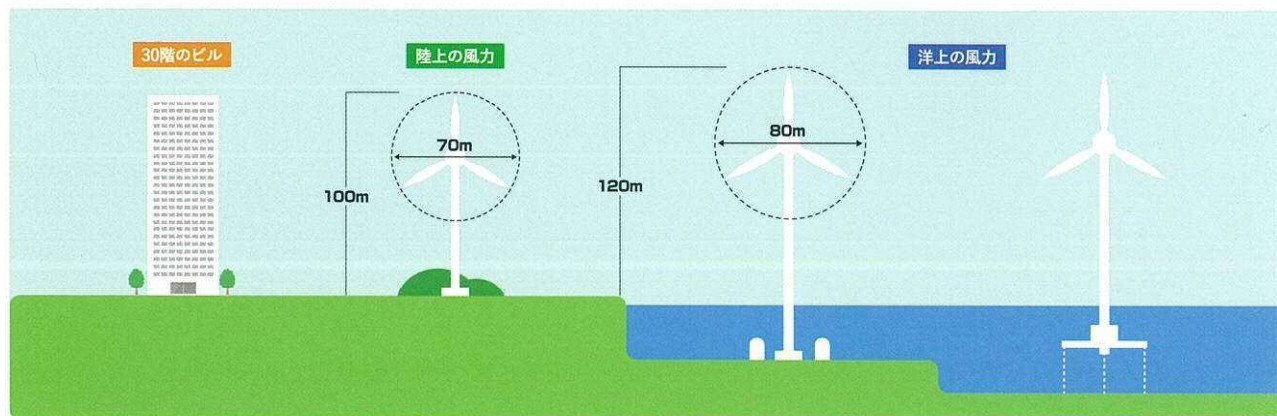


響灘洋上風力発電プロジェクト

洋上風力発電の大きさと設置方法



一般的に洋上では、陸上より大規模な風車を設置することができます。



現在、響灘で設置されている洋上風車の大きさは、海面から羽の中心部(ナセル)までが約80m、羽の直径は83mです。

着床式
(50mまでの浅い水深)
海底に基礎を築いて設置

浮体式
(深い水深)
風車自体を海に浮かべ
海底に錘で固定

北九州市の洋上風力発電(展望)



一般海域

- 平成29年・30年度の環境省「風力発電等に係るゾーニング導入可能性検討モデル事業」に採択され一般海域における洋上風力発電導入の可能性を調査
- NEDO浮体式洋上風力発電実証事業の開始
事業者:丸紅ほか5団体のコンソーシアム
内容:3Mクラス浮体式洋上風力発電(1基)で、2枚羽根の風車を設置



港湾区域

- 事業者: ひびきウインドエナジー株式会社
- 風車基数:最大44基 (5Mクラス風車の場合)
- 総事業費:1,750億円程度
- スケジュール:平成29年度～ 環境アセス等調査
平成34年度～ 着工、順次運転開始



響灘地区を風力発電産業の総合拠点に



産業集積

響灘地区は、テストセンター、メンテナンス訓練施設、風車部品の物流センターの整備を行うとともに、風力発電関連企業の誘致を進めています。

風車市場

北九州港の近海周辺は、風況等洋上風力発電設置に適した海域が広がっており、北九州港湾区域から導入を進めています。

拠点港化

風車の大型化に伴い、60mを超える長尺部材、400トンを超える重量部材の積み出しが可能な岸壁及び背後に保管が可能なヤードの整備を進めています。

北九州市の地域エネルギー政策

低炭素社会の実現に向け、北九州市では様々なCO₂削減の取組を実施しています。

八幡東区東田地区での取組

北九州水素タウン（H22年度～）

本格的なコミュニティレベルでは世界で初めてとなる水素のパイプラインによる一般住宅、商業施設、公共施設への供給、燃料電池自動車から住宅への電気供給（FCV2H）等を実施しました（一部は、継続中）。これにより、水素を安定して民生用の電気及び熱エネルギー源として利用できることを実証しました。

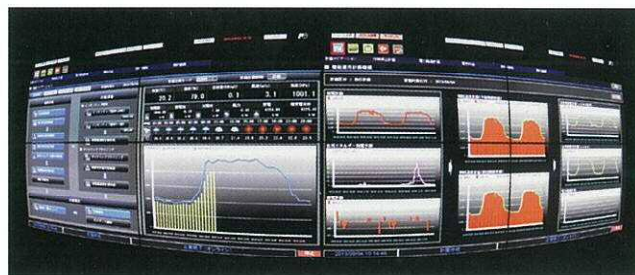


水素パイプライン



燃料電池自動車から住宅への電気供給（FCV2H）

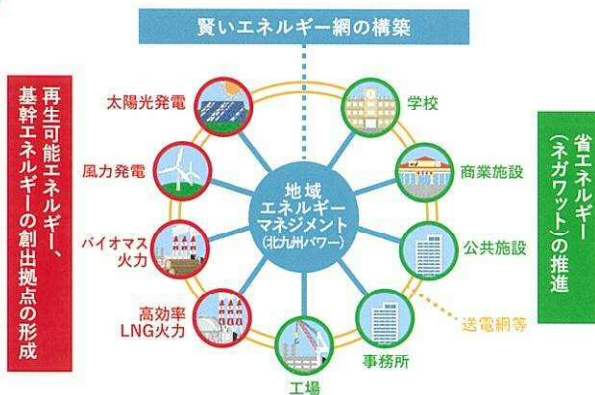
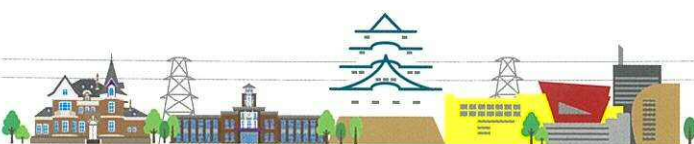
北九州スマートコミュニティ創造事業（H22～26年度）



地域節電所[CEMS]等を用いて、市民（電気の消費者）が参加するエネルギーマネジメントの仕組みを構築し、再生可能エネルギーなど地域のエネルギーを無駄なく賢く使いこなす実証実験を行いました。その結果、家庭部門では平均約20%の電力ピークカット効果が確認されました。

株式会社北九州パワー（地域エネルギー会社）

低炭素で安定したエネルギーを地域に供給するため、北九州市及び地元企業が出資して地域エネルギー会社を設立しました。平成28年4月より、市のごみ焼却場で発生する電気を市内の公共施設や企業に供給しています。今後は、更なる需要家の拡大に併せエネルギーマネジメントを推進し、低炭素社会の実現に寄与します。



ボン・ジョーノ



JR城野駅北側の未利用国有地を中心とした城野地区において、エコ住宅や創エネ・省エネ設備の設置誘導、エネルギーマネジメントによるエネルギー利用の最適化、公共交通の利用促進など、様々な低炭素技術や方策を総合的に取り入れて、ゼロ・カーボンを目指した先進的な住宅街の整備を行っています。

北九州学術研究都市



理工系の国・公・私立大学や研究機関が同一キャンパスに集積し、「アジアに開かれた学術研究拠点」「新たな産業の創出・技術の高度化」を目指しています。先端的な科学技術、特に「環境技術」と「情報技術」を中心に、活発な教育研究活動を展開しています。

お問い合わせ

北九州市環境局地域エネルギー推進課
〒803-8501 北九州市小倉北区内1番1号
TEL.093-582-2238 FAX.093-582-2196

リサイクル適性
この技術等は、印刷物の製へ
リサイクルできます。

VEGETABLE
OIL INK

No.1712079B